

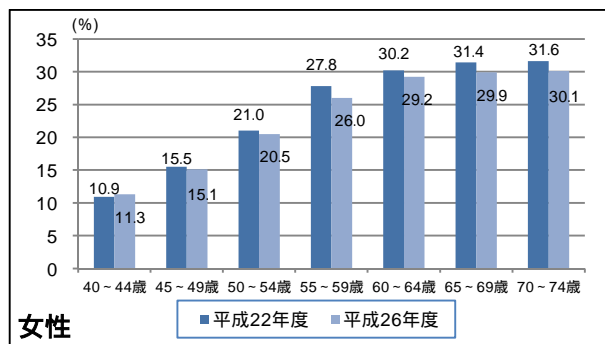
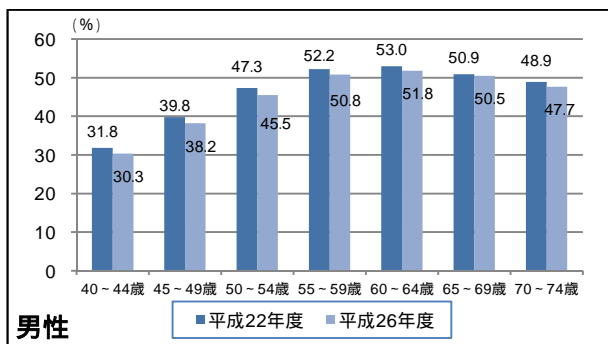
第4項 糖尿病

1. 現状と課題

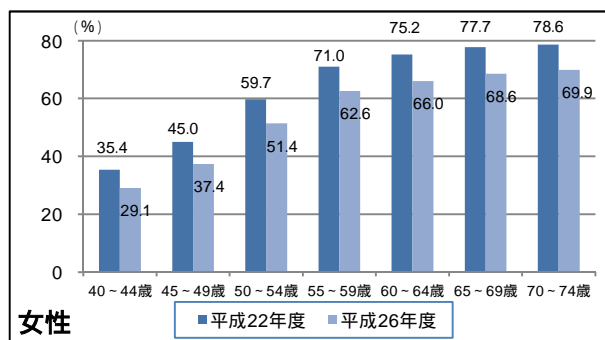
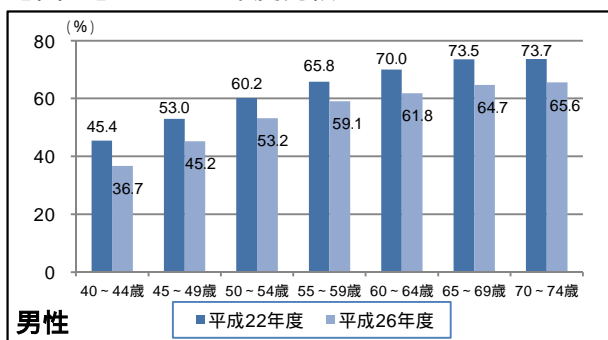
本県の40歳から74歳の糖尿病有病者の推定数は10万6千人、その予備群の推計数は7万3千人（平成23年度県民健康・栄養調査）と、約4人に1人が糖尿病の有病者とその予備群という状況です。

特定健診受診者のうち空腹時血糖やHbA1cの値が保健指導や受診勧奨の対象と判定された人の割合は、平成26年度は平成22年度よりいずれも減少しているものの、全国の割合より高い状況です。また、現在糖尿病の疑いがある人・将来糖尿病発症のリスクのある人の割合も全国の割合より高い状況です（図1～図4参照）。

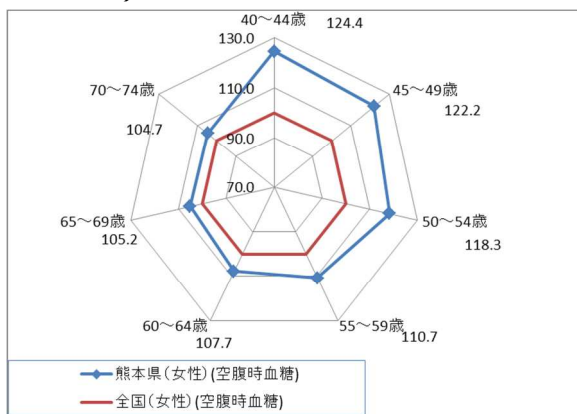
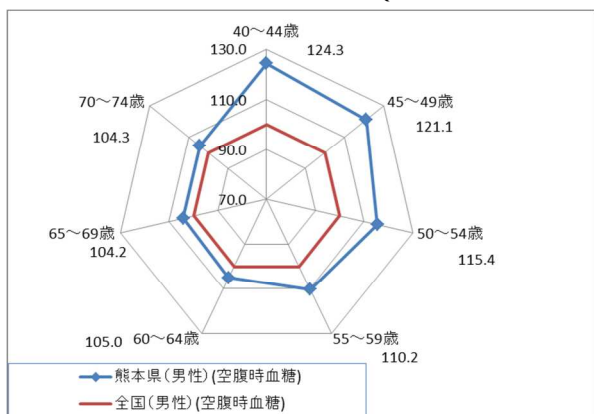
【図1】空腹時血糖の年度比較



【図2】HbA1cの年度比較

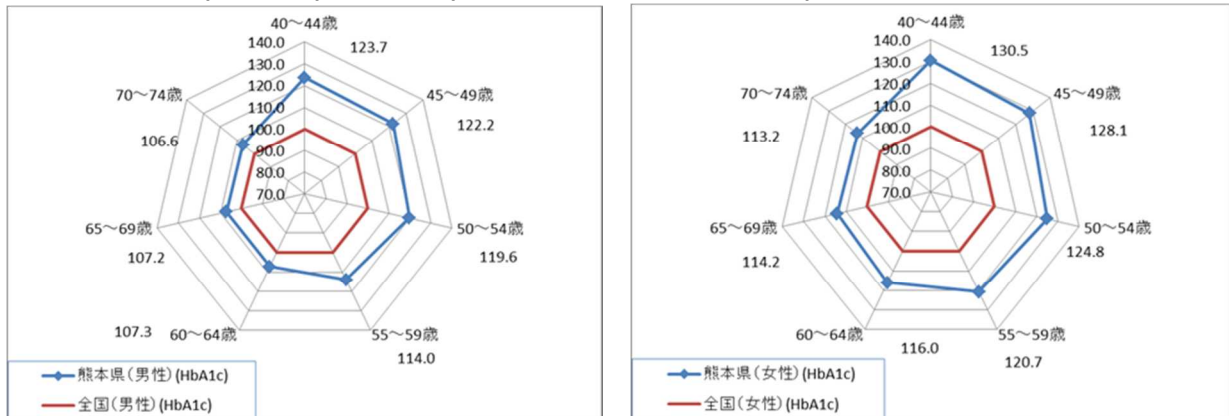


【図3】空腹時血糖・年代別（全国平均を100として比較）



HbA1c（ヘモグロビンエイワンシー）とは、過去1から2か月の血糖値の状態を示す検査値のことです。

【図4】HbA1c (NGSP値)・年代別 (全国平均を100として比較)



(出典 [図1~図4]: 厚生労働省「NDBオープンデータ」(平成29年9月16日公表分))

平成29年度熊本県健康・食生活に関する調査によると、特定健診等受診者のうち高血糖を指摘された人の7割は、適切な治療を行っていません。また、熊本県保険者協議会の平成27年度特定健診データによると、HbA1c検査を受けた人のうち、治療をしていないが医療機関の受診が必要な人や、合併症の発症や進行が予測される人は減少していません(表1参照)。

【表1】HbA1c検査を受けた者のうち、医療機関の受診が必要な者等の割合

	平成22年度	平成27年度
医療機関の受診が必要な者(HbA1c6.5%以上)	4.6%	3.3%
合併症の発症や進行が予測される者(HbA1c8.4%以上)	17.7%	16.3%

(出典: 熊本県保険者協議会「特定健診データ」)

平成26年の本県の糖尿病の受療率(216)は、全国平均(191)より高く、慢性人工透析患者数(平成27年:人口100万当たり3,545人)も全国(平成27年:人口100万当たり2,538人)より多い状況です。また、新たに人工透析になる原因は糖尿病性腎症が36.6%(平成27年の新規導入患者514人のうち188人)と最も多い状況です。

- 糖尿病の保健医療体制として、特定健診等後の適切な治療や療養指導を提供するための多機関・多職種による連携体制の整備が進んでいます。また、保健所が中核となり、郡市医師会・郡市歯科医師会・郡市薬剤師会・熊本県栄養士会・市町村や保険者等との連絡会議を開催し、顔の見える関係が構築されたことにより、二次保健医療圏における保健医療体制の整備も進んでいます。

糖尿病専門医や日本糖尿病療養指導士は平成24年に比べて増加していますが、1人しかいないという圏域もあります。糖尿病連携医は平成24年より減少しています(表2参照)。平成28年度から養成が始まった熊本地域糖尿病療養指導士は、平成29年6月現在586人です。今後は、これらの人材を更に養成し、糖尿病患者の療養生活を支える体制を強化していくことが求められています。

受療率とは、ある特定の日に疾病治療のために、全ての医療施設に入院あるいは通院、又は往診を受けた患者数と人口10万人との比率のことです。

糖尿病専門医は、専門的知識をもとに質の高い糖尿病の診療や患者への指導を自ら行うだけでなく、糖尿病診療チームのリーダーとしても医療機関内で活動します。かかりつけ医とも連携し、地域の糖尿病診療において重要な役割を担います。

日本糖尿病療養指導士は、糖尿病治療に大切な自己管理を患者に指導する医療スタッフです。

糖尿病連携医は、特定健診等で糖代謝異常を指摘され、市町村や医療保険者の受診勧奨によって受診した患者に「初期待定期治療」として期待される医療を提供します。

熊本地域糖尿病療養指導士(CDE-K)は、身近な医療機関等において、軽症糖尿病患者を対象に、糖尿病治療の自己管理の重要性や日常生活に密着した食事、運動等の改善、服薬管理等の重症化予防のための療養指導を行います。

【表 2】糖尿病専門医数等の推移

	平成 24 年	平成 29 年（ 6 月）
糖 尿 病 専 門 医	80 人	94 人
日本糖尿病療養指導士	460 人	513 人
糖 尿 病 連 携 医	197 人	125 人

（一般社団法人日本糖尿病学会、一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構及び熊本県糖尿病対策推進会議の公表する情報を基に熊本県健康づくり推進課作成）

2 . 目指す姿

県民に糖尿病に関する正しい知識を普及し、糖尿病予防や早期発見、重症化を予防できるようにします。また、県民が安心して適切な医療や支援を受けることができる体制を整備します。

3 . 施策の方向性

発症予防・早期発見対策の推進

- ・ 糖尿病の発症予防のため、県民が糖尿病予防に関する正しい知識を身につけ、自ら健康的な生活が実践できるよう、生活習慣改善の具体的な行動を呼びかける糖尿病予防の県民運動を新たに展開します。
- ・ 糖尿病の発症予防や早期発見のため、市町村や関係機関と連携し、職域等の健康診査、特定健診・特定保健指導の実施率の向上やそれに伴うメタボリックシンドロームの改善率の向上等に取り組めます（詳細は、第 2 章第 1 節第 2 項・同章第 2 節参照）。

重症化予防の推進

- ・ 糖尿病の重症化予防を推進するため、熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの普及に取り組むとともに、医療機関や保険者等の連携体制を整備し、患者への適切な受診勧奨や保健指導につなげます。

○ 保健医療提供体制の整備

- ・ 糖尿病患者に適切な保健医療サービスを提供するため、熊本県糖尿病対策推進会議・熊本大学医学部附属病院と連携し、糖尿病連携医制度の推進、病診連携や医科・歯科連携のための糖尿病診療情報提供書や関係機関との連携のための熊本糖尿病地域連携パス（DM熊友パス）糖尿病診療における指針の普及と活用の促進など、熊本型糖尿病保健医療連携体制を強化します。また、医療機関と歯科医療機関、市町村・保険者と歯科医療機関との連携体制を整備します。
- ・ 患者の確実な服薬のため、医師と薬剤師が連携して患者を支援するなど、医科・薬科の連携体制を整備します。
- ・ 患者への適切な食事療法指導の充実を図るため、管理栄養士がいない医療機関と、管理栄養士のいる医療機関、栄養相談を実施する市町村、栄養ケアステーション等との連携体制を整備します。

熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラムとは、平成 29 年 12 月 1 日に熊本県医師会・熊本県糖尿病対策推進会議・熊本県保険者協議会・熊本県の四者で策定した、糖尿病性腎症重症化予防の取組みを実施するための基本的な考え方を示すものです。

- 地域の状況に応じた熊本型の糖尿病保健医療連携体制を整備するため、二次保健医療圏の保健医療関係者連絡会議を開催し、連携ツールの活用検討や研修会等を通じて、関係機関の連携を強化します。

治療や療養指導に携わる人材育成の推進

- 糖尿病患者の治療や療養指導の充実を図るため、熊本県糖尿病対策推進会議や熊本大学医学部附属病院と連携し、糖尿病連携医、糖尿病専門医、熊本地域糖尿病療養指導士などの糖尿病治療や療養指導に携わる人材の育成を支援します。

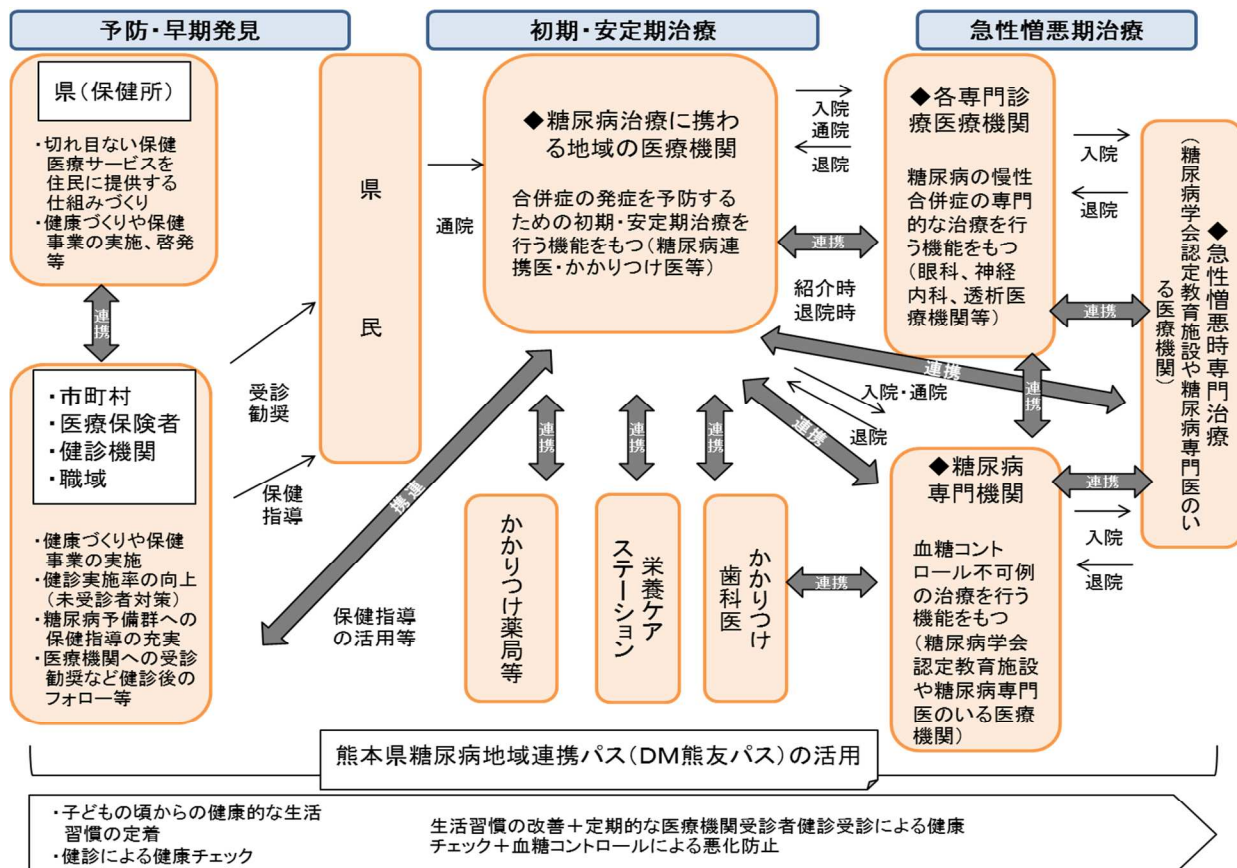
4 . 評価指標

指標名	現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
特定健康診査受診者のうち、空腹時血糖 100mg/dl 以上の者の割合	34.5% (全国平均 30.3%) (平成 26 年度)	全国平均以下 (平成 32 年度)	平成 32 年度の全国平均以下とすることを目指す。
特定健康診査受診者のうち、HbA1c (NGSP 値) が 5.6% 以上の者の割合	56.8% (全国平均 47.0%) (平成 26 年度)	全国平均以下 (平成 32 年度)	平成 32 年度の全国平均以下とすることを目指す。
特定健診受診者のうち、HbA1c (NGSP 値) が 6.5% 以上の者の割合	7.5% (全国平均 6.6%) (平成 26 年度)	全国平均以下 (平成 32 年度)	平成 32 年度の全国平均以下とすることを目指す。
高血糖を指摘され医療機関の受診を勧められた人のうち、定期的に通院している人の割合	30.8% (平成 29 年度)	50% 以上 (平成 34 年度)	保健医療連携体制の整備等に取り組み、受診が必要な者の半数以上が通院している状態を目指す。
糖尿病性腎症による年間新規人工透析導入患者数(3年平均)	231 人 (参考) 平成 25 年 : 251 人 平成 26 年 : 256 人 平成 27 年 : 188 人	220 人以下 (平成 33 年)	糖尿病患者の重症化予防等を行い、新規人工透析導入患者(3年間の平均)を 220 人以下とすることを目指す。
糖尿病連携医数	125 人 (平成 29 年 6 月)	増加	熊本大学医学部附属病院等と連携し、糖尿病連携医数を増加させることを目指す。
糖尿病専門医数	94 人 (平成 29 年 6 月)	増加	熊本大学医学部附属病院等と連携し、糖尿病専門医数を増加させることを目指す。
日本糖尿病療養指導士数	513 人 (平成 29 年 6 月)	増加	熊本大学医学部附属病院等と連携し、日本糖尿病療養指導士数を増加させることを目指す。
熊本地域糖尿病療養指導士数	586 人 (平成 29 年 6 月)	増加	熊本大学医学部附属病院等と連携し、熊本地域糖尿病療養指導士数を増加させることを目指す。

5. 糖尿病の医療圏

糖尿病医療圏については、二次保健医療圏を基本とします。

6. 糖尿病の医療連携体制図



第7次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧（糖尿病）

病期・医療機能	S P O	重点 ●	指標名	定義	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用	
					調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次医療圏ごと												
								数値	全国順位	熊本	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨			天草
予防	S	●	特定健診実施率	特定健診受診者数/特定健診対象者数 (医療保険者から国に報告される法定報告値)	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省HP)	平成27年度 (毎年度)	50.1	46.7	28	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	
予防	S		特定保健指導実施率	特定保健指導終了者数/特定保健指導対象者数 (医療保険者から国に報告される法定報告値)	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (厚生労働省HP)	平成27年度 (毎年度)	17.5	27.6	4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	
初期・安定期	S		糖尿病内科(代謝内科)医師数	従事する診療科名等について、「糖尿病内科(代謝内科)」と届出をした医師数(10万人当たり)	医師・歯科医師・薬剤師調査	平成26年 (2年)	3.3	5.9	2	10.1	1.8	4.2	3.6	2.8	0.0	0.0	4.1	7.9	3.2	3.9	人	
初期・安定期	S		糖尿病内科(代謝内科)標榜医療機関数	主たる診療科目を「糖尿病内科(代謝内科)」と標榜している施設数及び単科で「糖尿病内科(代謝内科)」を標榜している施設数の合計数(10万人当たり)	医療施設調査(静態)	平成26年 (3年)	1.3	2.7	3	3.8	1.8	1.8	1.8	2.2	0.0	3.4	1.4	2	1.1	3.2	施設	
初期・安定期	P		糖尿病患者の年齢調整外来受療率	傷病大分類「糖尿病」の都道府県別の年齢階級別推計患者数から算出した都道府県別受療率を標準人口に当てはめ算出したもの	患者調査	平成26年度 (3年)	175	182	24	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人	
初期・安定期	P		HbA1c検査の実施件数	HbA1c検査の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年度)	48,281	50,101	21	54,372	46,534	42,834	62,047	32,843	40,771	32,262	54,208	68,998	60,505	55,576	件	
初期・安定期	P		尿中アルブミン(定量)検査の実施件数	尿中アルブミン(定量)検査の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年度)	1,547	858	46	935	990	956	95	263	452	489	281	1,351	2,251	1,288	件	
初期・安定期	P		クレアチニン検査の実施件数	クレアチニン検査の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年度)	37,997	38,265	20	46,096	29,023	29,449	35,241	24,683	22,598	16,744	45,895	62,361	34,457	41,517	件	
初期・安定期	P		精密眼底検査の実施件数	精密眼底検査の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年度)	6,944	5,700	43	6,347	2,291	3,053	6,781	2,399	2,267	5,243	7,293	14,243	6,505	9,128	件	
初期・安定期	P		血糖自己測定の実施件数	血糖自己測定の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年度)	5,763	6,007	17	7,377	4,868	4,543	5,840	3,451	4,117	2,367	4,583	10,765	6,647	7,602	件	
初期・安定期	P		内服薬の処方件数	内服薬の処方件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年度)	48,547	53,349	9	53,789	49,508	52,180	61,650	37,656	45,274	37,694	61,024	69,108	70,291	62,827	件	

第7次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧（糖尿病）

病期・医療機能	S P O	重点	指標名	定義	調査の詳細		データ														単位	評価指標として使用	
					調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次医療圏ごと													
								数値	全国順位	熊本	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草			
初期・安定期	P		外来栄養食事指導料の実施件数	外来栄養食事指導料の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年度)	1,240	976	36	1,123	1,191	567	877	418	673	103	748	5,290	1,372	341	件		
初期・安定期 合併症予防を含む 専門治療	O	●	新規透析導入患者数	新規透析導入患者数	透析医学会	平成27年 (毎年)	36,796	514	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人	
合併症予防を含む 専門治療	S		教育入院を行う医療機関数	教育入院を行う医療機関数	教育入院を行う医療機関の状況(日本糖尿病協会HP)	随時	-	16	-	9	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	数	
合併症予防を含む 専門治療	S		糖尿病専門医数	日本糖尿病学会により認定された糖尿病専門医数	糖尿病専門医の認定状況(日本糖尿病学会HP)	随時	-	94	-	62	4	7	1	7	1	1	5	1	2	3	3	人	○
合併症予防を含む 専門治療	S		腎臓専門医数	日本腎臓学会により認定された専門医数	腎臓専門医別人数(日本腎臓学会HP)	随時	4,809	71	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人	
合併症予防を含む 専門治療	S		糖尿病登録医/ 療養指導医	日本糖尿病協会による、登録医/ 療養指導医の状況	糖尿病登録医/ 療養指導医の状況(日本糖尿病協会HP)	随時	4,351	123	-	73	8	8	3	6	4	2	5	1	6	5	5	人	
合併症予防を含む 専門治療	S		糖尿病療養指導士数	日本糖尿病療養指導士認定機構により認定された指導士数	糖尿病療養指導士の状況(日本糖尿病療養指導士認定機構HP)	随時	19,399	508	-	270	16	33	13	46	5	9	35	26	17	38	38	人	○
合併症予防を含む 専門治療	S		糖尿病看護認定看護師数	日本看護協会により認定された糖尿病看護認定看護師数	糖尿病看護認定看護師の認定状況(日本看護協会HP)	随時	820	10	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人	
合併症予防を含む 専門治療	P		糖尿病透析予防指導の実施件数	糖尿病透析予防指導の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年)	88.4	278.9	1	51.7	0.0	222.5	20.1	6.6	0.0	0.0	2863.2	149.5	12.9	68.1	68.1	件	
合併症予防を含む 専門治療	P		在宅インスリン治療件数	在宅インスリン治療件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年)	7,803	8,569	10	10,427	7,087	6,657	8,595	5,168	5,494	3,660	8,262	15,240	8,553	9,314	9,314	件	
合併症予防を含む 専門治療	O		低血糖患者数	低血糖患者数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年)	422.0	471.8	15	675.2	338.1	242.3	512.2	336.1	232.7	266.3	383.7	472.4	280.4	399.2	399.2	人	
合併症予防を含む 専門治療	O		糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡患者数	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡患者数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度 (毎年)	156.8	152.1	26	194.6	94.9	80.4	107.5	143.2	77.1	*	133.2	277.1	157.5	198.0	198.0	人	

第7次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧（糖尿病）

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	定義	調査の詳細		データ														単位	評価指標として使用	
					調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次医療圏ごと													
								数値	全国順位	熊本	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草			
合併症治療	S		糖尿病性腎症の管理が可能な医療機関数	糖尿病性腎症の管理が可能な医療機関数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度(毎年)	1.5	2.3	5	12.5	1.6	4.7	3.7	9.8	15.8	0.0	1.5	3.9	5.9	8.1	施設		
合併症治療	S		歯周病専門医数	日本歯周病学会が認定した歯周病専門医数	歯周病専門医の認定状況(日本歯周病学会HP)	平成27年(毎年)	-	19	-	12	0	1	1	2	0	1	1	0	0	1	人		
合併症治療	S		糖尿病登録歯科医師数	日本糖尿病協会が認定した歯科医師数	糖尿病登録歯科医師の認定状況(日本糖尿病協会HP)	随時	-	40	-	21	4	1	1	4	1	1	1	0	5	1	人		
合併症治療	P	●	糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数	糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数	日本透析医学会	平成27年(毎年)	120,278	2,149	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	件	
合併症治療	P	●	糖尿病足病変に対する管理	糖尿病透析予防指導の実施件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度(毎年)	174.3	93.2	42	103.8	0	163.1	*	80.3	0	0	224.8	350.8	0	9.6	件		
合併症治療	P	●	糖尿病網膜症手術件数	糖尿病網膜症手術件数(人口10万人当たり)	NDB	平成27年度(毎年)	90.8	102.4	11	133.1	302.8	66	67.4	24.6	68.2	22.5	63.8	79.7	96	56.1	件		
合併症治療	O		糖尿病患者の年齢調整死亡率	糖尿病による年齢調整死亡率(男性)	人口動態特殊報告	平成27年(5年)	5.5	4.6	36	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人	
				糖尿病による年齢調整死亡率(女性)	人口動態特殊報告	平成27年(5年)	2.5	1.9	40	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/